

五月二十八日

六時起床。十二時迄大沢温泉ホテルのチェックなど。外国人に日本の伝統的な建築のスタイル、構法を設計を介して教えるのは至難な業だな。アントニー・レーモンドの木造みたいな感じになつてしまい、どうしても気に入らない。モスクワ・ダーチャ・ワークショップはそろそろ準備を急がないといけない。サイエンス&ビジネス研究所の発足趣旨考案。十四時四〇分研究室。諸々の打合わせ。北京計画等。スタッフに一九八九年のガウディの城を見せる。マア、研究室にはパワーあつたなあ頃は。もう少し元気出して欲しいのだがね。二〇時打合わせ了。北京の大筋のアイデアがまとまりつつあるが、もう一歩も二歩も三歩もだな。モスクワのアイデアも、激しいモノになつてくる。やっぱり、桁外れたのが好みだ。農村計画もバランスをとらなくては。二〇時半京王線車中。九時烏山、ネパール料理ラ・パパスでモモ、ガールックナン、サグマツシールム、ヒマラヤラム。ラムに一人酔う。六千メートルのトロン峠はもう体力的に越えられないだろうが、三千五百メートルのマナンにはカトマンドウから飛行機で行けるようだ。できれば再訪したい。今冬は友人とアイルランドにウイスキーを飲みに行く約束をしているので、来年になるかなあ。

五月二十九日 日曜日

十一時半迄眠る。昼食後下の菜園の拡張作業。取り壊してしま

つた家の離れがあつた場所で、ツルハシで土を掘り返しているとガチリ、ガチンと石や瓦の破片にぶち当たり、仲々大変な作業である。三時間程かけて、それでも八坪程の土を掘り返した。掘り返した石と瓦でアゼ道をつくる。下の土地の丁度真中に梅の木があり、西側には月桂樹やらがはえているので、下にはどんなに広げても三〇坪位しか菜園を作る事は出来ないだろう。とすれば、今日は将来の菜園計画の四分の一程を耕した事になる。満足である、が疲れた。疲れついでに上の菜園に上り、水をまく。屋上の菜園は二十五坪程あるので、今は三十三坪程の菜園を育てている事になる。日曜日毎に拡張したり、育てたりで、五〇坪程の菜園になれば、沖縄の人達の自給自足菜園の広さに充分追いつけると思う。今日も屋上のサマーレタスで昼食、夕食はまかなえた。夜は畑の計画で遊ぶ。